



自分を磨き、役に立てる精神を

2026.8_Vol.11

(第3種郵便物認可) 新聞定価(税込)月々4,900円・1部売り(税込)月160円・9月10日

西日本新聞

一人ひとりの行動が、
きれいで安心できる
地域をつくれます。

このたび、長年にわたり続けてきた博多駅周辺の清掃活動が、西日本新聞に掲載されました。

この活動が始まったのは1993年。以来30年以上にわたり、毎月8日の早朝を中心に、博多駅周辺のお掃除を続けています。これまでの参加者は延べ3万人を超え、現在では地域の皆さまや活動に賛同して下さる方々も参加する取り組みへと広がっています。

警備会社として「地域の安全・安心を守る」ことは、私たちの大切な使命です。地域のために

にできることは、警備という仕事だけではありません。道に落ちているごみを拾う、困っている方に声をかける、身近な場所をきれいにする。一見すると小さな行動でも、その積み重ねが地域の安心につながり、人と人とのつながりを育んでいくと考えています。

「自分の心を磨くきっかけに」という思いから始まった清掃活動は、今では多くの仲間と地域をつなぐ大切な活動となりました。

これからも、地域の皆さまへの感謝を胸に、私たちにできることを一つずつ積み重ね、博多のまちの安心・安全と、より良い地域づくりに貢献してまいります。

博多駅清掃30年超で3万人



博多駅周辺でごみを集める参加者たち

毎月8日早朝実施、活動の輪広がる

森さんの言葉に衝撃を受けた帆足さんは九州の玄関口・博多駅での清掃活動に



化の象徴。森さんの言葉に衝撃を受けた帆足さんは九州の玄関口・博多駅での清掃活動に踏み出し、「未だがり」の8日を実施日にした。その後、清掃は新型コロナウイルス禍で、活動は一時中断していたが、現在は代表世話人の活動に参加する田中さん(海野恵一さん47)と吉富町(池田純子さん65)の2人で、活動は毎月8日午前6時から、最も多い日には約160人が参加した。出勤、登校前に活動する人もいる。(林 原弘)

「自分の心磨くきっかけに」

8日あった博多駅早朝清掃の参加者たち。加藤駅長(中央)から記念の盾を受け取る田中さん(左)。

(8月11日付け 西日本新聞朝刊都市圏版紙面)



株式会社SRC代表取締役 池田純子

SRCは、お客様と社員が誇りと喜びを共創できる会社を目指します。